

企業型DC担当者セミナー

～ パネルディスカッション ～

2018年11月

関西ペイント株式会社
人事企画室 向井 和弘



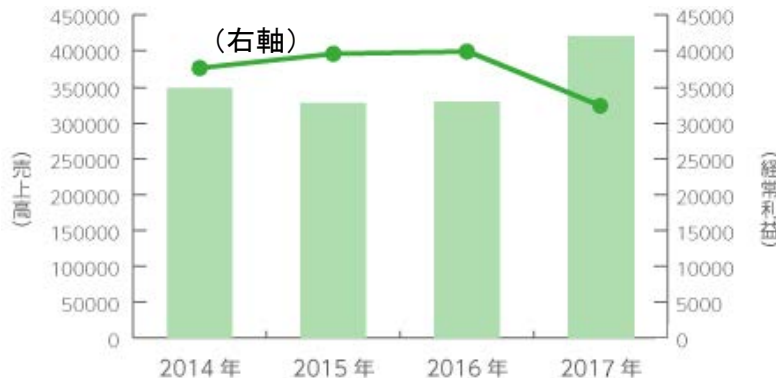
目次

- 会社概要
- 退職金制度改革（DC導入）の概要
- 確定拠出年金（DC）制度の概要
- DC運営管理機関検討委員会の設置
運営・資産管理機関の選定
運用商品ラインアップの検討
- DC制度導入後の制度運営
- 教育関連取り組み実績
- 現状の課題と今後の方針

会社概要

- 社名 関西ペイント株式会社 (Kansai Paint Co.,Ltd.)
- 本社所在地 大阪府中央区今橋二丁目6番14号
- 研究所・事業所 研究所(平塚)
事業所(鹿沼・東京・平塚・名古屋・尼崎・小野・北九州)
- 設立 1918年(大正7年)5月17日
- 代表取締役社長 石野 博
- 資本金 25,658百万円
- 従業員数 15,731名(連結ベース、2018年3月31日現在)
- 事業内容 各種塗料の製造・販売、配色設計、バイオ関連製品及び電子材料関連製品の製造・販売

- 業績



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
連結売上高	349,333	328,118	330,235	401,977
連結経常利益	37,725	39,714	40,025	33,241

単位: 百万円

当社の事業内容

機能性塗料の展開
塗料 + αにも挑戦



シックイ塗料



ムシヨケ塗料



建築用



防食（構造物）用



自動車補修用



自動車用

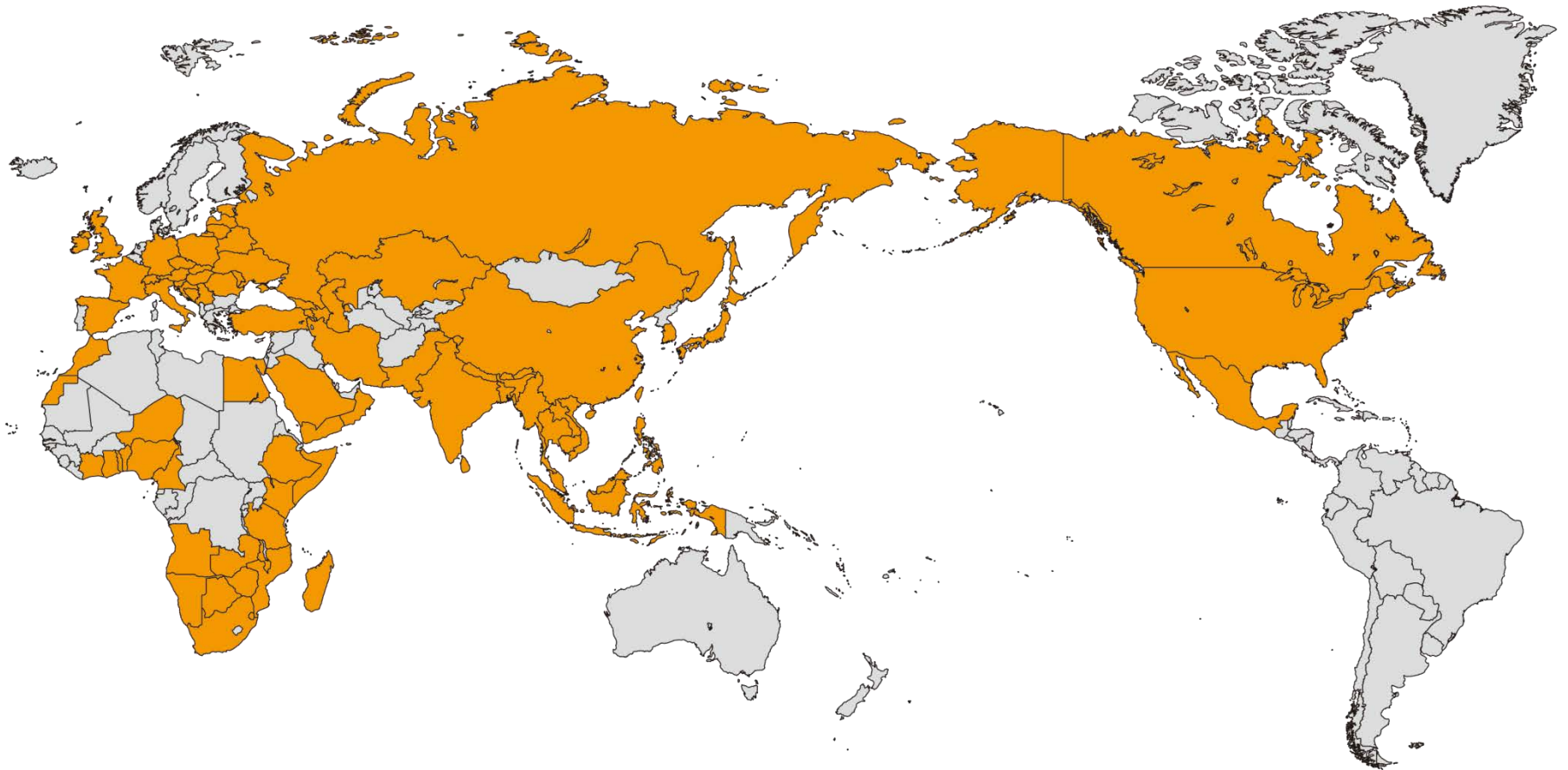


工業用



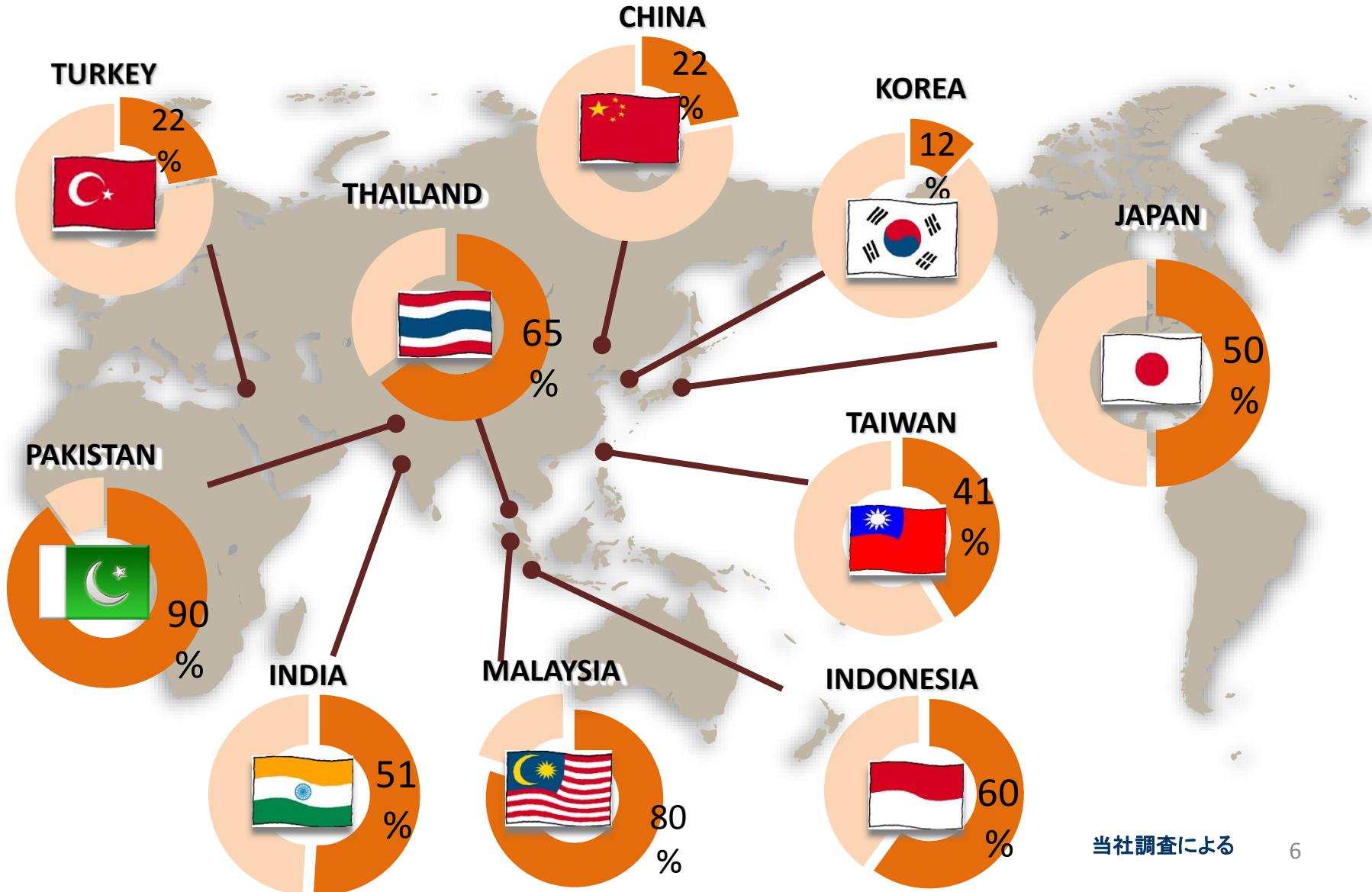
船舶用

関西ペイントグループの事業展開地域

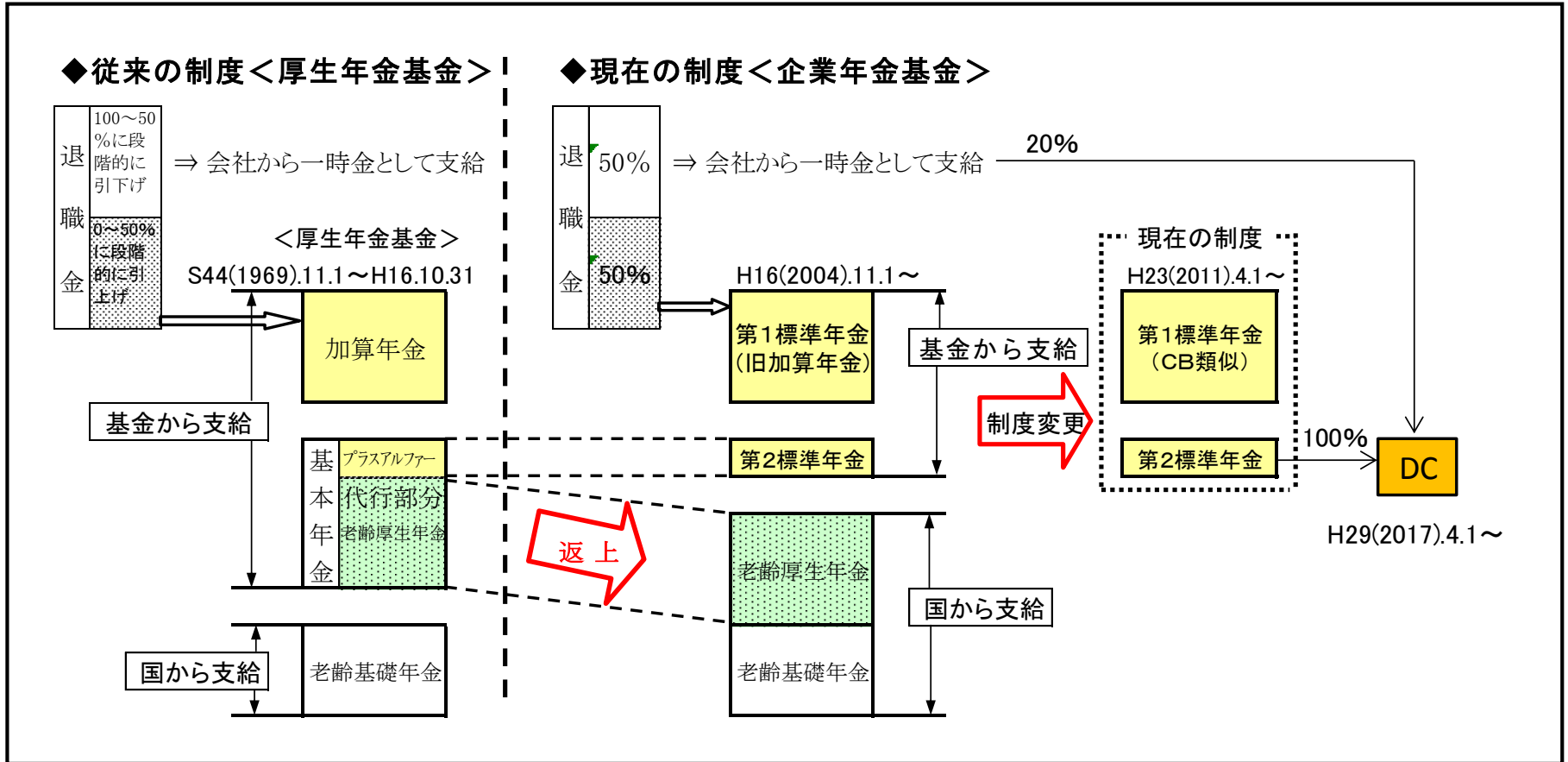


※2018年（直近）の事業展開地域

自動車用塗料の国別シェア

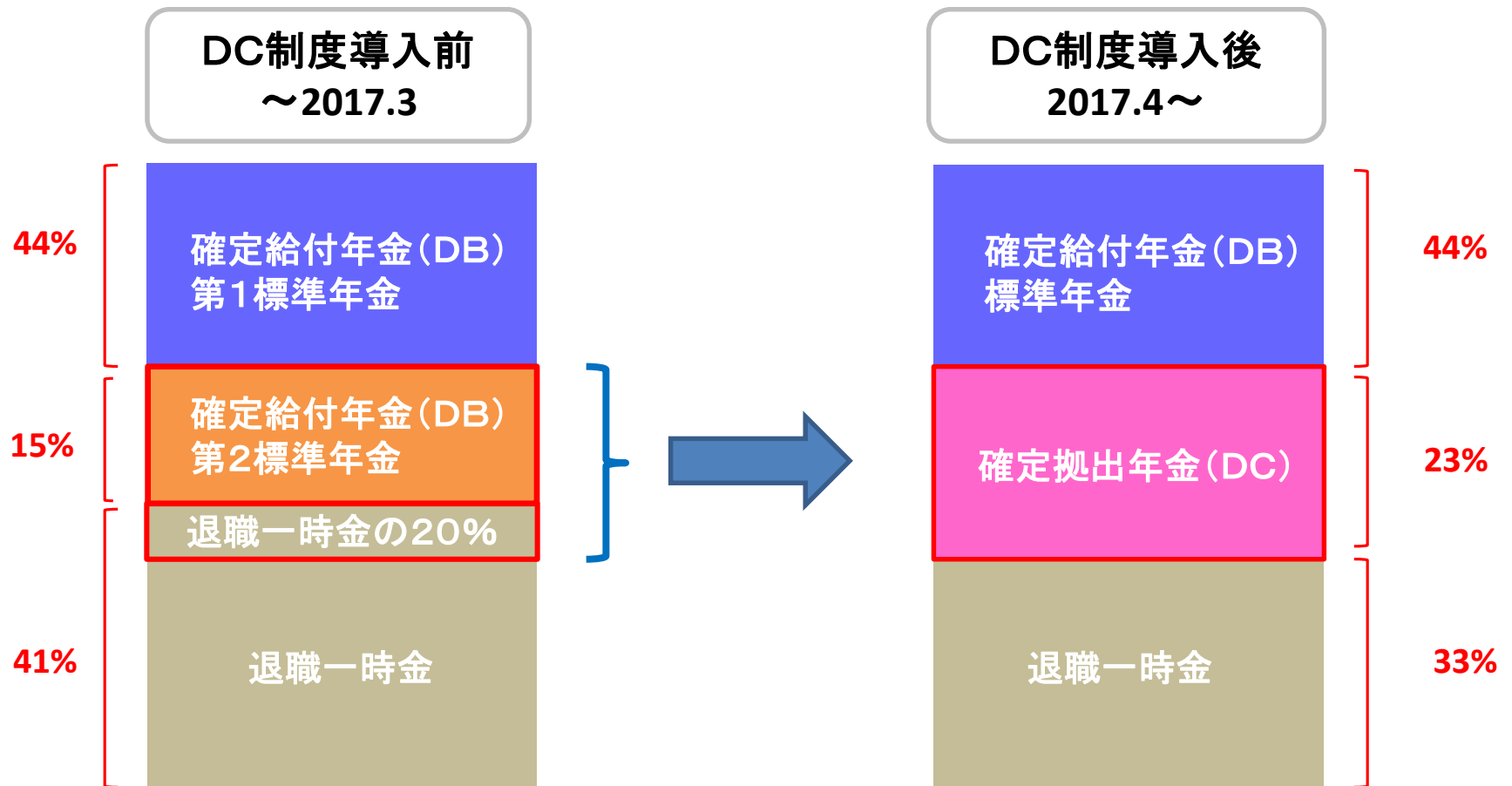


退職金制度の変遷



退職金制度改革 (DC導入) の概要

関西ペイント企業年金基金の年金は第1標準年金と第2標準年金がありましたが、2017年4月1日より確定拠出年金制度 (DC) の導入により、第2標準年金100%、及び退職一時金の20%を過去分も含めてDCへ移換しました。



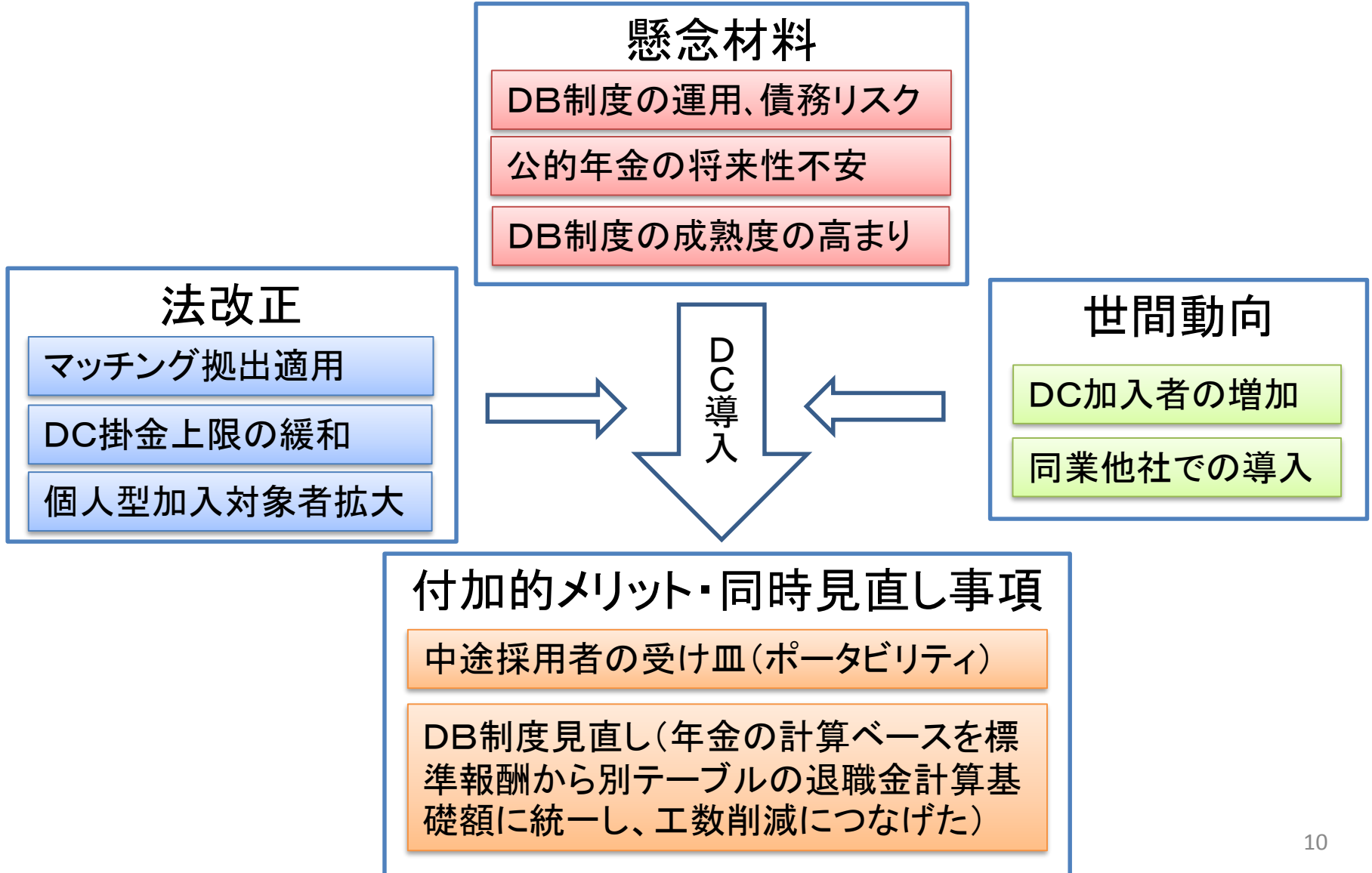
確定拠出年金(DC)制度の概要

- 想定利回り : 1.4%
- 運営管理機関: 信託銀行
資産管理機関: 信託銀行
- 運用商品: 24本

元本確保型8本(定期預金3本、保険商品5本)

投資信託16本(バランス5本、国内債券1本、国内株式4本
外国債券2本、外国株式3本、その他1本)

確定拠出年金(DC)制度導入の背景



DC運営管理機関検討委員会の設置

- 目的

確定拠出年金(DC)制度の導入検討にあたり、運営管理機関候補の選定を行う。

- メンバー

常務管理本部長(企業年金基金理事長)、人事部、経理部(経理)、労働組合役員

- 選定方法

アンケート、プレゼンテーションの実施による選定

運営・資産管理機関の選定

		A社	B社	C社	D社(候補)
コスト(導入時、ランニング、教育)					
コールセンター	オペレーター 対応時間				
	記録管理機関への転送 (運用指図)				
	海外フリーコール				
	使いやすさ評価				
継続(投資) 教育	評価				
WEB	評価				
総合評価 (格付投資情報センターによる)					
運用商品(自社比率)					
記録関連機関					
事務局工数					
情報リスク管理					
資産管理(グループ会社)					

◆コスト、コールセンター、WEB、教育、事務局工数等の項目について、
運管検討委員会で検討し、最終候補を決定した。

DC制度導入後の制度運営

DC制度運営労使検討委員会を設置し、DC制度導入後の運営について、定期的に労使で検討する場を設けた。

- **メンバー** : 執行役員 人事部長 (企業年金基金理事長)、各事業所 労政担当、労働組合役員、事務局
- **内 容** : モニタリングレポートの報告
継続教育の検討 (イントラ掲示板による広報・集合教育)
運用商品の検討
- **開催時期** : 7月 (定例)、11月 (臨時)
- **その他** : 担当者・労組役員に対する勉強会の実施

運用商品ラインアップの検討

計画

商品区分		本数		
元本確保	定期預金	3		
	保険商品	3		
	計	6		
投資信託		パッシブ	アクティブ	計
	バランス	4	1	5
	国内債券	1		1
	国内株式	1	1	2
	外国債券	2		2
	外国株式	2	1	3
	リート	1		1
	計	11	3	14
	合計	20		



結果

商品区分		本数			増減
元本確保	定期預金	3			
	保険商品	5			+2
	計	8			
投資信託		パッシブ	アクティブ	計	
	バランス	4	1	5	
	国内債券	1		1	
	国内株式	2	2	4	+2
	外国債券	2		2	
	外国株式	2	1	3	
	リート		1	1	
	計	11	5	16	
	合計	24			+4

- **選定基準**：運用手法、運用実績、コスト
- **内容**：運管からの提案をもとに、商品バランスの取れた選定をした。

教育関連取り組み

- 社内報によるDC制度の仕組みの紹介
- イントラ掲示板利用によるタイムリーな広報
(DC制度専用フォルダー開設)
- モニタリングレポートの広報(年2回)
- 個人別残高案内(年2回)
- 個人別運用レポートの発行(年1回)
- ライフプランセミナーによるDC制度の説明
(基金主催、54歳以上対象)





確定拠出年金 個人別運用レポート

ポイント

1. 運用状況の再確認・見直しのために活用できる
2. 運用利回り・資産配分割合・将来の予想資産額を確認できる
3. 資産運用ではリスク許容度に応じた資産配分計画が重要

現状の課題と今後の方針

- Web、コールセンターのさらなる利用促進
- 低関心層（特に若年層）に対するアプローチ
- 集合教育（個別相談）等による継続教育の実施
- アンケートの実施による理解度、関心レベル調査
- 運用商品の見直し検討
- マッチング拠出の利用率の向上

ご清聴ありがとうございました。

